

## ①柱の位置を決め、基礎を設置します。

- ・柱間隔は柱芯々2000mmピッチで割り付けて下さい。
- ・通り芯を正確に出して下さい。基礎寸法は以下の通りです。

		基礎寸法 G1 x G2 x G3(mm)			
		スパン 1m		スパン 1.2m、1.5m、2.0m	
		積雪地	積雪寒冷地	積雪地	積雪寒冷地
50目	H900~H2100	300 x 300 x 450	300 x 300 x 600	250 x 250 x 450	250 x 250 x 600
40目	H900~H1300	300 x 300 x 450	300 x 300 x 600	250 x 250 x 450	250 x 250 x 600
	H1600~H2100	300 x 300 x 450	300 x 300 x 600	300 x 300 x 450	300 x 300 x 600

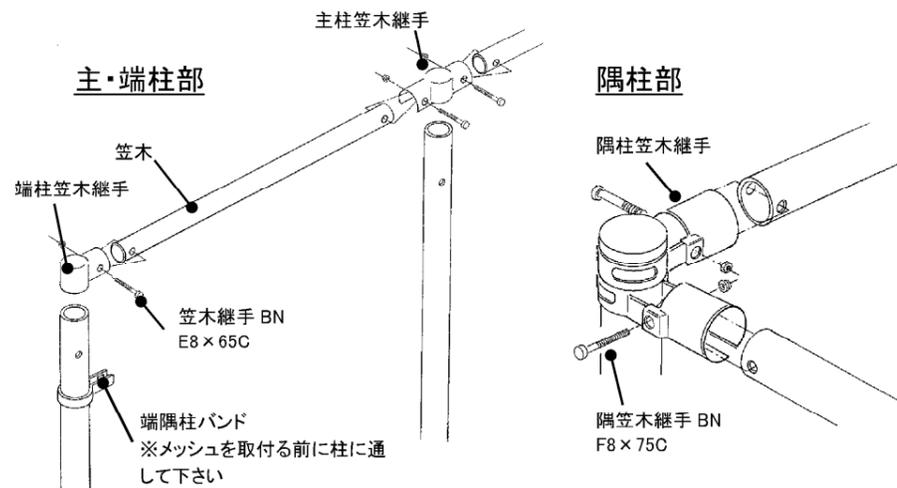
※柱埋込寸法  
 H900~H1100=200mm  
 H1300~H1600=250mm  
 H1900~H2100=300mm

## ②柱を建てます

- ・隅柱は軸心より45度(90度)振向けて設置します。(隅部参照)

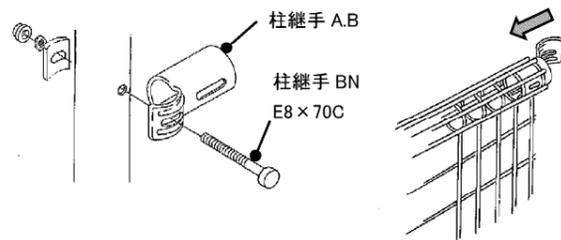
## ③柱に笠木を取り付けます

- ・B.Nは仮止めとします。メッシュを取付後増締めして下さい。



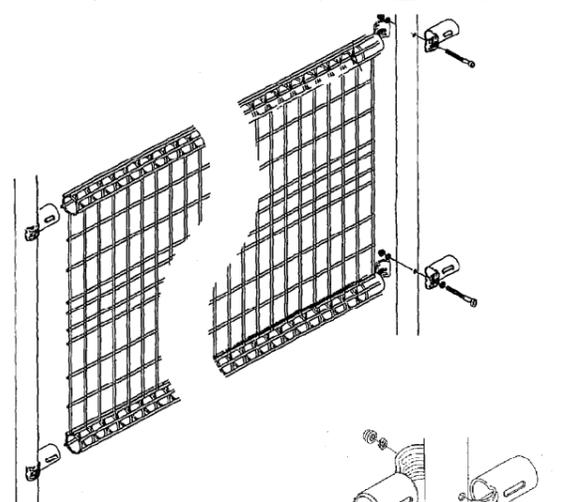
## ④端柱に柱継手を取付ます

- ・柱継手を端柱に取付けます。(上下)
- ・あらかじめメッシュの主柱側に柱継手を差し込みます。(上下)



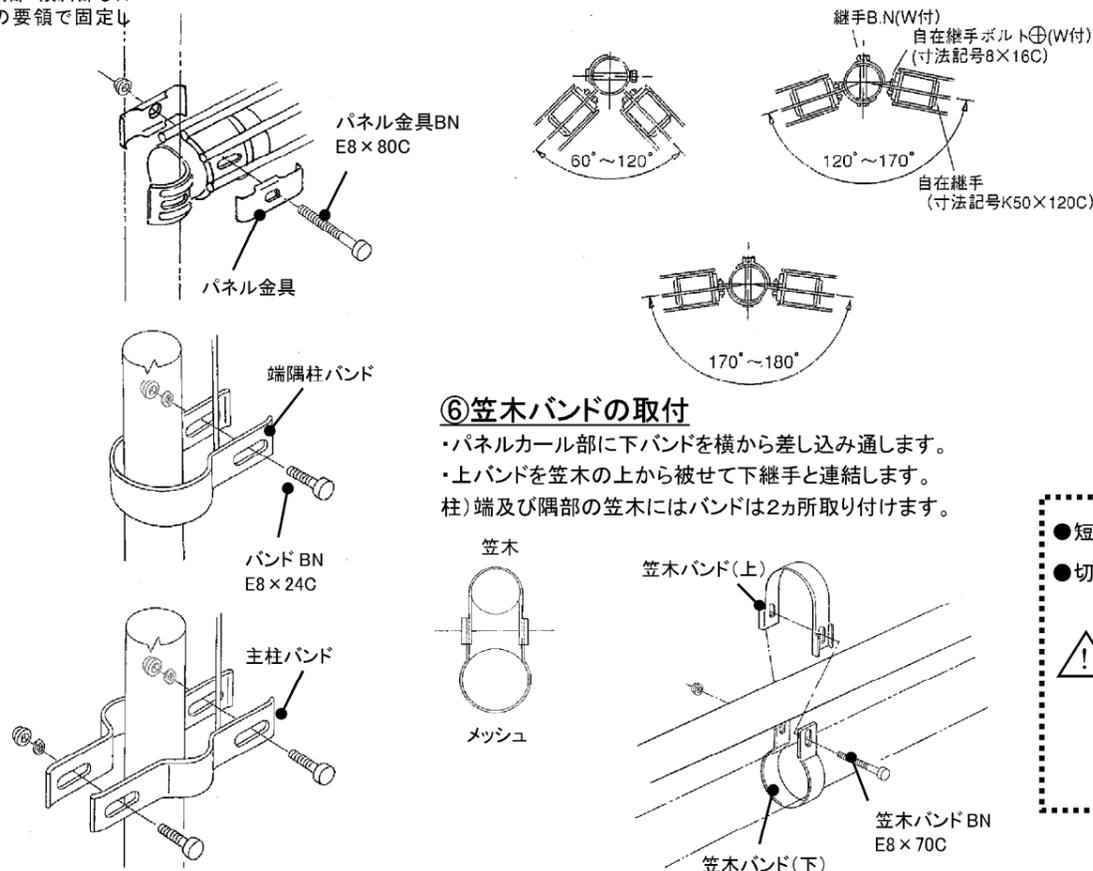
## ⑤メッシュパネルの取付

- ・端柱の継手にパネルを差し込みます。
- ・メッシュをパネル金具で柱継手と固定します。
- ・メッシュと柱の間隔が均等となるよう左右調整して下さい



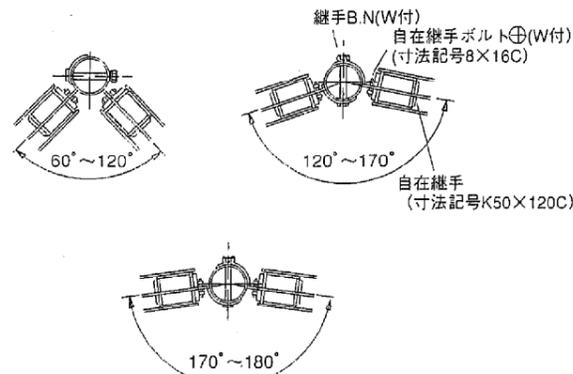
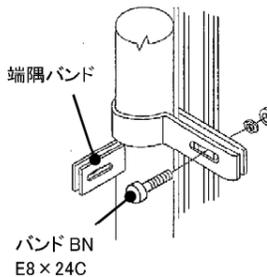
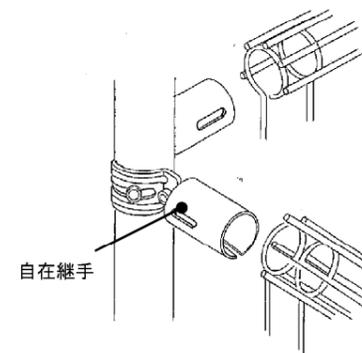
## ●主柱部

※継手とメッシュの固定は隅部・傾斜部も右下図の要領で固定します



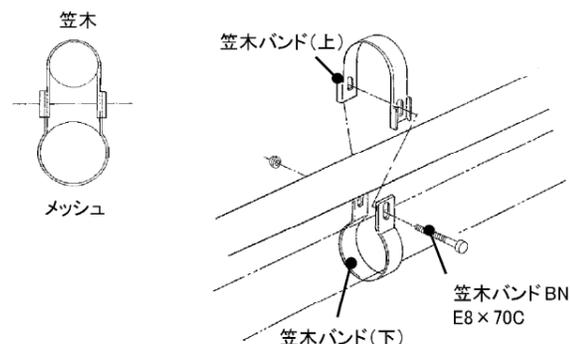
## ●隅柱部

- ・自在継手をフェンスの曲がる方向に取付けます。(上下)



## ⑥笠木バンドの取付

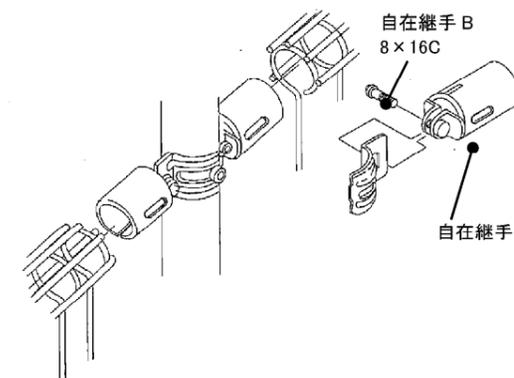
- ・パネルカール部に下バンドを横から差し込み通します。
- ・上バンドを笠木の上から被せて下継手と連結します。
- 柱)端及び隅部の笠木にはバンドは2カ所取り付けます。



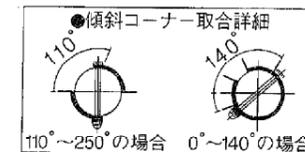
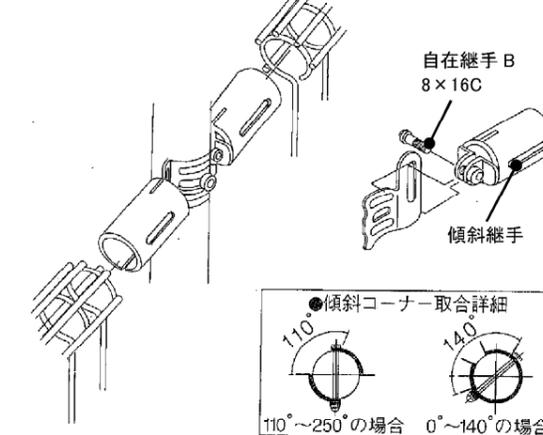
## ●傾斜柱部

- ・傾斜自在継手を取付けます。(上下)

### 傾斜が5度以下



### 傾斜が5度を越えて40度まで



- ・傾斜10度以上の場合はメッシュ上胴縁部の谷側と下胴縁部の山側を切断しなければ取付できません。

●短スパンは柱間隔に合わせてメッシュパネルを切断します。  
 ●切断部はバリを取り補修塗料(タッチアップ)で補修して下さい。

**注意**  
 短スパンでメッシュパネルを切断した場合は取扱にご注意下さい。手に怪我をする場合があります。

**注意****●施工注意点**

- ①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。
- ②基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より30mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がったり埋まったりしないようにしてください。
- ③施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。
- ④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。
- ⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

**●取扱い注意点**

- ①標準フェンスに他の付属物(防風ネット、目隠し板等)を取付ける場合は、必ず弊社までお問合せの上、強度の確認をしてください。お問い合わせの無い場合、破損等に対する責任を問いかねます。